

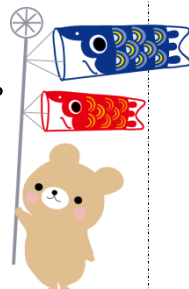
かもろ公民館 図書室だより

平成26年度 5月号
蒲生公民館図書室 ☎52-1771

5月 (皐月 さつき)

5月5日は、五節句のひとつ「端午の節句」。身のけがれを祓う災厄除けの行事です。1948年(昭23)、「こどもの日」と制定されました。子どもの健康を願う鯉のぼりが、5月の爽やかな青空にはためきます。

(参考資料:「日本の七十二候を楽しむ」)

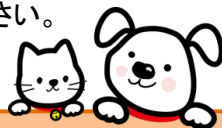


子ども読書の日・こどもの読書週間

4月23日は「子ども読書の日」、4月23日～5月12日は「こどもの読書週間」です。蒲生公民館図書室では、4月16日～5月14日まで、特設コーナーにて「日本の童話・世界の童話」をテーマにした絵本・児童書の展示を行っています。



また、「子ども読書の日」を記念して行われた図書館と学校給食のコラボ企画「ものがたりレシピをいただきます！」に関する本も展示しております。どうぞお越しください。



●5月カレンダー

						休室日
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

開室日 : 火～日曜日
(月曜・祝日は休室)
開室時間 : 9:00～17:00
(12:00～13:00は休室)
貸出冊数 : 図書5冊・雑誌2冊
貸出期間 : 15日間

いつもいっしょ、本といっしょ。

2014・第56回こどもの読書週間
4/23～5/12

期間中は、来室した方にしおりをプレゼント♪

新着図書のご案内

※中央・加治木の本も予約できます。

「昨夜のカレー、明日のパン」 木皿泉 著



7年前、25歳で死んだ一樹。遺された嫁のテツコと、一樹の父・ギフの何気ない日々の中にもちりばめられた「コトバ」の力が、じんわり心にしみる連作長編小説。

本当の自分って、いったいなんだろう？ “今を生きるヒント”が詰まった、堂本剛と各界の賢人たちとの本音の対話集。対談後記、インタビューなども収録。



「ココロのはなし」 堂本剛 著

「衣・食・住 暮らしの雑貨帖」 甲斐みのり 著



日々の暮らしを彩る日用品、日本各地で見つけた工芸品、家族を思い出す愛らしい雑貨…。旅好きの著者が愛する品々を、写真とともに紹介する一冊。

一般書

- 「50からは、毎日が一期一会」 沖幸子
- 「ハッピー!開運神社めぐり」 永崎ひまる
- 「もてなしお菓子&おうちごはん100」 コウケンテツ
- 「幸せの生前整理」 辰巳渚
- 「島はぼくらと」 辻村深月
- 「聖なる怠け者の冒険」 森見登美彦

児童書

- 「子どもに語る日本の神話」 三浦佑之
- 「ぜんぶわかる のりものものしりずかん」 松本真 監修

2014年 本屋大賞が決定!



※貸出中の際は、予約をすることができます。

大賞 「村上海賊の娘」 和田竜

戦国時代、瀬戸内海で大きな勢力を誇った村上水軍。「海賊王」と恐れられた武将・村上武吉の娘である景(きょう)を主人公に、木津川口の戦いを描いた一大巨編。

【本屋大賞】—「全国書店員が選んだいちばん!売りたい本」をキャッチコピーに、書店員が読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び、投票して決定される賞。

蒲生公民館図書室利用者 おすすめの本

*「ころをつよくすることば」 武田双雲 著

普段は意識することのない漢字だが、この本を読むとひとつひとつ意味があるものと気付かされる。例えば「にんげん」という言葉には、人は一人ではなく、人と人との間で助けられながら生きているという意味がある。次に「凄」という漢字。冷たいという意味をもつ「にすい」に、「妻」がくっついている…何が「すごい」のかは本を読んで確かめてください。この他にも筆者流に解釈した言葉がたくさんあり、心に残るものだった。ぜひ読んでもらいたい一冊です。(70代・女性)

